



組合員と共に、平和について考えたい

よどがわ生協は、くらしを取りまく社会が変化中、組合員のくらしの願いを実現する組織として、食の安全・平和・環境など、さまざまな取り組みを行っています。また理事会では、組合員のくらしに大きな影響を与えると判断した問題については、積極的に意見表明や組合員への呼びかけを行っています。

どうして平和の取り組みを行うの？

人々は第2次世界大戦中にたくさんの苦しい体験をしました。また多くの生協が施設を焼かれ、職員は戦争に行き不足したため、活動停止や解散になりました。戦後、全国の生協は平和を願い求める組織として再スタートしました。大阪よどがわ市民生活協は、1977年に「よりよきくらしと平和のために」(創立宣言)事業と運動をすすめる消費者の組織として誕生しました。めざすことは、「笑顔ひろがる 豊かなくらし」です。平和があってこそ、食やくらしの豊かさが実現できると考えています。いのちとくらしや健康、

環境を破壊する戦争に反対し、核兵器をなくす運動などを進めています。

今年の大雨の中、国民平和行進に参加
今年も、7月に国民平和行進への参加や、8月にはヒロシマ・ピースツアーを実施し、日本生協連主催の「ピースアクションinヒロシマ」に参加しました。毎年、被爆地広島を見て・聞いて・感じたことを通じて「核兵器のない平和な世界」に向けて、私たちができることを組合員さんと共に考えています。(4面ニュースファイル参照)



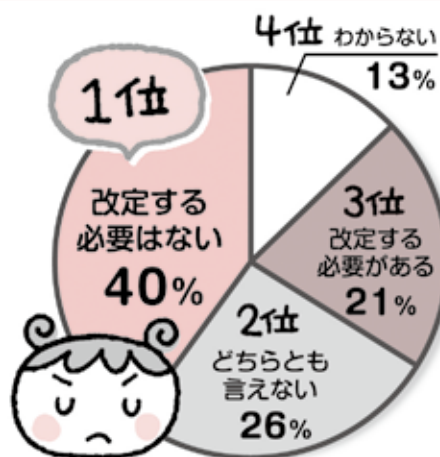
ヒロシマ・ピースツアーにて被爆者証言を本人から聞く

平和について組合員意識は？

●2017年9月実施「社会的諸問題意識調査」では

憲法第9条の改定について

憲法第9条(戦争放棄、軍備及び交戦権の否認)の改定は必要だと思いますか？



●2018年1月実施「あなたの願い」調査では

不安定な「平和」に、「今後が不安」の声が寄せられました

- 平和がおびやかされる世界情勢が不安です。(茨木市 30代組合員)
- 今の子どもたちが大きくなった時に、くらしにこまらない世の中になってほしい。安全で平和な暮らしを望みます。(島本町 40代組合員)
- 核兵器のない平和な世界でありますように、子ども・孫世代が安心して住める地球、社会であることを祈っています。(摂津市 50代組合員)
- 平和ボケでしょうか？戦争はゼツタイにダメ…。戦争を知らない世代が心配です。戦争体験記を読んでほしいです。(吹田市 80代以上組合員)



よどがわ生協は、2018年度活動方針で「平和・憲法を柱に社会的諸問題を学び、広げます」と掲げています。組合員の意識の実態をふまえ、現行憲法を知るところを広く組合員・地域に呼びかけます。

親から子へ

交流の中で体験を



日常の中で

「平和」の意識づけを



講演会などで

学びの場を



ぜひ、今後の取り組みにご理解とご協力・ご参加をどうぞよろしくお願いいたします。



<https://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の生協さん 第3支所



委託配送:SBSゼンツウ 元気な笑顔とともに商品をお届けします。永福 大輝 (あいうえお) これからも、よろしくお願いします。



よどがわ市民生活協は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。